

## 「船堀駅前地区まちづくり基本構想（案）」の意見募集結果について

「船堀駅前地区まちづくり基本構想（案）」に関する意見募集手続きは、令和5年2月15日から2月28日までの期間で行いました。

その際、13名より計33件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

### 1 意見募集手続きの概要

#### (1) 意見募集期間

令和5年2月15日から2月28日までの間

#### (2) 周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和5年2月15日号の「広報えどがわ」に掲載

新庁舎・施設整備部新庁舎整備課窓口に閲覧用の印刷物を設置

#### (3) 意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

#### (4) 提出先

新庁舎・施設整備部 新庁舎整備課 船堀駅周辺まちづくり係

### 2 意見募集の結果

	頂いたご意見	区の考え方
1	素晴らしいと思います。	ご意見ありがとうございました。
2	駅前の街づくりを考えることは、生活者の動線を考えることに直結すると思います。税収の担い手の 独身者・ファミリー、それらに支えられる 学生・老人  おのこのの生活動線 = 自宅 駅前 目的地（会社、学校） 駅前 自宅として。 独身者は、朝は時間がなくて何もできないかもしれませんが、夜や休日は外食ができるところが少ないと感じ	人々の行動様式や考え方が時代とともに変化することを踏まえ、具体的なまちづくりのあり方について、引き続き検討していきます。

	<p>ます。 主人も奥さんも子供を駅前に預ければ = 託児所など大変助かると思えますし、駅前に図書館があれば児童書を楽に借りられるでしょう。 受験勉強する場所があれば助かり、 昼間の憩い、安らぎ = 年寄り臭いのは嫌われるので、いつ行ってもカーニバルマーケット的な賑わい、賑やかしがあれば（平日の昼間をコンスタントに埋めるのは難しいですが、コメダ珈琲的でしょうか）</p> <p>人は動く、どのように、何のために、を考えたらどうかと思います。</p>	
3	<p>船堀に 30 年以上住んで、非常に住みやすいと思っています。とくに、親水公園などの自然環境が居住地としての利便性と共生していて、この住みよさを継続する街づくりを目指したらよいと考えます。経済成長最優先では、このような余裕のある土地の使い方は難しいと思えます。街を活性化するためにも、歩道は今までよりも広くする、など、ゆったりした居住環境にしてほしいです。</p>	<p>本構想では、対象区域を特性や目指すべき内容に応じて、「にぎわい交流」「複合用途」「居住」の3つのゾーンに区分し整理しています。今後はまちづくりを実現するための具体的な方策や進め方の検討を行っていきます。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ施設等設置</li> <li>・大学誘致</li> <li>・駅改札の増設(東口、西口)</li> <li>・飲食店の設置</li> <li>・若い世代のコミュニティ構築するため、ワークショップ等を行えるようなオープンスペースの設置</li> <li>・ドッグランの設置</li> <li>・駅前オープン図書館の設置</li> <li>・子供服等をリユースリサイクルできるようなフリーマーケット等を行えるようなオープンスペースの設置 etc</li> </ul>	<p>区を中心にふさわしいにぎわいや交流をもたらす商業、業務、文化などの多様な都市機能の集積・誘導を目指します。</p> <p>なお、本構想はまちの役割や機能を整理したものであり、具体的な用途については、今後まちづくりが進む中で決定します。</p>
5	<p>2階ペDESTリアンデッキを作る案を見ました。私の勘違いでなければ、最小限の面積のように見えました。1階広場を全て覆うような広場空間があるペDES</p>	<p>歩行者デッキにつきましては、「船堀駅前地区高台まちづくり基本方針」で考え方を示しています。具体的な構造やルート、幅員等について、平常時の地上レベルの</p>

	<p>トリアンデッキにしてもらいたいです。また、道路の上を覆って、船堀街道を挟んだ向こう側まで続くペDESTリアンデッキにしてもらいたいです。2階のペDESTリアンデッキが単なる通路ではなく広場機能がある、機能性が高いものにしてもらいたいです。ペDESTリアンデッキの上下移動にエスカレーターとエレベーターを設置して欲しいです。屋根もつけていただきたいです。</p> <p>大きな事業ですので、付け足し感のある工作ではなく、どうぞ素晴らしいものとしていただきたく、快適で機能性の高いものとなるようご検討のほど、よろしくをお願いします。</p>	<p>にぎわいとバランス、災害時に必要となる機能、整備に係る費用などを踏まえ、総合的に判断して今後決定していきます。</p>
6	<p>多世代・多国籍が交流できる文化的で楽しいサステナブルな街 高層ビル・駅近となる新庁舎が船堀周辺のまちづくりにも生かされるプラン・施設の構築</p> <p>1) 通り名称の設定 船堀駅周辺のまちづくりのベースとして、船堀駅前を起点に各方面に伸びる「通り」や「歩道」に名称(シンボリックな造形・街路灯を含む)を設定することで通り沿いの活性化や連携・協力、また防災に効果的。</p> <p>【船堀駅前からその先にあるものを示すことのできるネーミング例：新川の小道 中川の小道 公園の小道 神社の小道】</p> <p>2) コミュニティバス・新川和船の定期運行 駅・新区役所・居住エリア・施設(コミュニティセンター・図書館など)・公園などのルートを定期的に巡るミニバスの運航。新川を定期的に巡る和船の運航。利便性、多世代交流、容易に近隣探索、安らぎや憩いを計れる。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、区を中心にふさわしい多様な都市機能の集積を図るとともに、船堀の歴史や資源を生かしたまちの魅力向上と情報発信に関する取り組みを検討していきます。</p>

	<p>3) アートミュージアム施設      絵画等の美術品展示をベースに、作品発表、ものづくり等のスペースを設置。</p> <p>4) だれでも広場・なんでもマルシェ施設      サステナブルピープル&amp;タウンを目指し、全ての年代・外国人が共にやりがい・生きがいを感じられるような楽しい交流の場。これが新庁舎に組み込まれるとより効果的。</p> <p>5) ものづくり起業支援      窓口・アンテナ施設を新庁舎内に設置。</p> <p>6) 江戸情緒を感じさせるまちづくり      「新川」の江戸情緒を感じられる造作環境の導線として船堀駅周辺にもそれを感じさせるまちづくりがあることで一層「新川」の価値あるコンセプトが活かされる。</p>	
7	<p>江戸川区「船堀駅前地区まちづくり基本構想(案)」に賛同します。</p> <p>「行政・防災の中心」にふさわしい、防災まちづくりをさらに推進について</p> <p>「防災まちづくりをさらに推進していただくために、避難された区民や働く職員の方々が安全で安心かつ平常時の日常生活に近い環境を提供することが重要です。例えば、避難生活に必要な発電設備等の充実を進めるとともに、エネルギー供給途絶に対応するためには、多重化・多様化の観点が必要不可欠と考えます。さらに、近年の風水害時にはガス供給は影響受けず安定供給できており、災害による大規模停電発生時の災害対策本部等、災害対応拠点の機能確保と、72時間を超える停電に対する備えとして、高効率なコージェネレーションなどの自立分散型エネルギーシステムによる電源の</p>	ご意見として承ります。

	<p>自立化・多重化の設備導入を検討し、エネルギーの確保を図ることが重要と考えます。</p>	
8	<p>「環境にやさしいまち」の実現について</p> <p>「環境にやさしいまち」の実現を目指し、積極的な脱炭素化の取組みを促進していただくために、また貴庁の温室効果ガス排出量の削減目標を達成するために、以下の2点を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油や石炭などから二酸化炭素排出量の少ない天然ガスへの燃料転換</li> <li>・コージェネレーションや燃料電池の普及拡大</li> </ul> <p>(理由) 第6次エネルギー基本計画に記載の通り、各分野における燃料転換等を通じた天然ガスシフトが進むことにより、環境負荷低減にも寄与する。将来的には、「e-methane(合成メタン)」を製造するメタネーション等の技術の確立によりガス自体の脱炭素化の実現が見込まれるため、提案させていただきます。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
9	<p>「環境にやさしいまち」の実現について</p> <p>緩和策として、貴庁の気候変動適応計画の取組の基本方針の一つとして、以下記載ありますので、促進策として区民・事業者が主体的により一層取り組んでいただけるよう、多くの自治体で実施している区の助成制度導入をご検討いただきたい。そのなかでも特に家庭用燃料電池エネファームの助成制度導入をご検討いただきたい。</p> <p>(理由) 江戸川区の二酸化炭素排出量の4割を占める家庭部門の削減が不可欠と認識しております。その解決策として、家庭用燃料電池エネファームは、1台設置当たり年間のCO2削減量が約1.4t</p>	<p>ご意見として承ります。</p>

	<p>と二酸化炭素削減に貢献しています。</p> <p>2009年発売開始以来、江戸川区内に約2,600台(23区内で一番多く設置されている世田谷区の3分の1)が累計で設置されており、リプレース時期も迎えており、新規導入とあわせて助成制度導入支援をいただくことで、家庭用部門の二酸化炭素削減に貢献できます。国も2030年までに530万台のエネファーム普及を目指しています。</p>	
10	<p>区役所移転後、電車やバス等の交通網が混雑することは誰の目から見ても明らかです。東京都と綿密な協議を実施し、都営新宿線や都バスの増車、道路拡張整備も行なってもらいたいところですが、以前から計画されている江戸川区画街路第21号も未整備の中、本当に構想通りに進むのでしょうか。今から着手できるインフラ整備はどんどん推し進めていくべきだと思いました。</p>	<p>船堀地区においては、これまで地区計画の手法を用いて、皆様にご協力をいただきながらまちづくりを進めてきました。本構想の策定を契機に、人口や交通量等の将来予測も踏まえながら、区の中心としてふさわしい基盤整備を検討していきます。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役所に社食を作ってほしいです</li> <li>・総合病院を作ってほしいです</li> </ul>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、「江戸川区新庁舎建設基本構想・基本計画(令和3年3月策定)」では、食堂に関しては、周辺の同種施設の立地を見込み、カフェやコンビニエンスストアの誘致を検討することが示されています。</p>
12	<p>P1 1-1 基本構想策定の背景</p> <p>江戸川区の水：地盤沈下に関する記載説明が無い中で「高台まちづくり」に言及している。</p>	<p>ご意見の内容につきましては、「高台まちづくり基本方針」で示しています</p>
13	<p>P3「わくわくする暮らしと個性が光るまちの形成」、P.6「わくわくする暮らしと個性が光るまちの形成」</p> <p>どのようなことを意図しているのか不明。言葉の遊びにしか過ぎない。</p>	<p>「船堀駅周辺地区まちづくり基本構想(令和3年3月策定)」の内容となります。当構想では、みどり豊かな空間と、商業・業務・文化・居住機能などが集積した魅力ある都市空間が形成され、にぎわいの創出や生活の質が向上することにより、誰もが安心して自分らしく暮らせる</p>

		ことを目指しています。
14	P6 中川岸で、「水と緑の軸」とされているが、スーパー堤防と緑、そして水辺の関係が不明。	「船堀駅周辺地区まちづくり基本構想（令和3年3月策定）」の内容となります。当構想において、荒川・中川及び新川の河川は「水と緑の軸」として位置付けており、憩いとなる親水空間の形成を図ります。なお、本構想では「江戸川区都市計画マスタープラン（平成31年3月策定）」におけるスーパー堤防の計画を表記しています。
15	P6 令和3年に策定された基本構想であるが、今回の「駅前構想」にどのように活かし、取り込むかの視点が欠如している。	本構想は、「船堀駅周辺まちづくり基本構想（令和3年3月策定）」で示されている目指すべき将来像を踏まえ、その実現に向けたまちづく方針や実現方策を示したものです。
16	P7 「日本一の防災庁舎の完成を目指して検討」 防災とは、その地域、事情に応じて検討されるべきものであり、「日本一の」とはいただけない。「江戸川区と東京を守る防災庁舎」として現実に即して住民の理解を得やすい表現が望ましい。	ご意見として承りますが、案のままとします。 なお、「日本一の防災庁舎」とは、復旧・復興も含めた長期的な視野を持ち、いざというときに信頼できる高い安全性を確保した、区民の安心のより所となる庁舎を意味しています。
17	P9 [出典：江戸川区 都市計画・建築基準法による指定道路情報提供サービスより作成] 出典年号が無い。データとして使用する場合は、作成年号が必要。	ご意見を踏まえ、作成年号を記載します。（令和4年10月3日時点）
18	P12 土地利用（図3） 船堀街道より西側は、都営新宿線北側に比較的規模の大きい集合住宅、専用商業施設、スポーツ興行施設等が立地していますが、一部で低未利用の土地利用が見受けられます。この「低未利用」とは何の意味か？ 用語に無いのでは。 公園・みどり（図5） 地区内（に）は公園等が少ない状況です。（に）があると文体としてよい。	ご意見として承りますが、案のままとします。 低未利用とは適正な利用が図られず、長期間に渡り利用されていない、または周辺地域の利用状況に比べて利用の程度が低いことを示しています。

	<p>“等”を使用するときは、複数以上の場合に使用する。ここで、“児童遊園”を意味しているならば、児童遊園を併記すればよい。</p> <p>地区に近接し新川千本桜等が立地しています。上記と同様。</p> <p>公益施設 タワーホール船堀、北西側には船堀コミュニティ会館等が立地しています。この文体の表現が正しい書き方となるが、は誤り。</p>	
19	<p>P14 地区の特長の上段の地図の注釈の誤り</p> <p>公団とハイラク船堀の間の歩道の注釈において「一部歩道が狭くなっている箇所がある」との記載があるが、この部分とこの歩道線は一律に2mが(+縁石15cm)確保されており、記載は誤りである。強いて言えば、その延長線上のハイラク側の歩道と車道が屈曲している箇所があり、桜の保護縁石の向きの関係で8cmほど狭くなっている部分があるが、「課題」として取り上げるものではない。しかもこの位置は、罫線の位置する場所とかなり離れた北側の位置である。</p>	<p>ご意見を踏まえて、引き出し線の位置を変更します。</p>
20	<p>P16の本文1～2行目</p> <p>句読点の蛇足か、あるいは他の場所に句読点が無いのか？(統一性がない)</p>	<p>ご意見を踏まえて、読点を無くします。</p>
21	<p>P17 タイトルに「交通結節機能」の強化</p> <p>「結節」を削除して「交通機能」の強化で十分な意味を成し、タイトルとしての意味合いが増す。(「結節」があることで、島式バスのことのみで特化される)なお、「結節」とは、結び合わせる意味であるが、社会では主として医学用語に使用され「盛り上がった肥厚部」としての活用が多い。</p>	<p>ご意見として承りますが、案のままとします。</p> <p>本基本構想における交通結節機能とは、電車、バス、自動車、自転車などさまざまな交通手段相互の乗り換え及び歩行が効率的かつスムーズに行える機能のことを示しています。</p>

22	<p>P17 タワーホール船堀の写真</p> <p>球面歪があり、タワーが右に傾斜している。タワーを垂直に位置することでシンボルタワーとして強調される。</p>	<p>ご意見を踏まえて、写真を変更します。</p>
23	<p>P17 「朝夕に多い送迎車の停車」の写真</p> <p>この写真は、赤い郵便ポストが中心で強調されており、表現力に欠ける。トキビル側から船堀駅方向で朝夕の送迎時の車の様子を表現することが望ましい。 (船堀駅をバックにした写真で赤いポストを隠し、車列を強調するとよい)</p>	<p>ご意見を踏まえて、写真を変更します。</p>
24	<p>P19 課題5</p> <p>「環境への負荷が少ない持続的なまちづくりが必要です。」とあるが、環境への負荷が少ないとは、何を意図し、どのようにするのか意味不明である。多分、「積極的な脱炭素化の取組みの促進」と思われ、P25 には記載があるが、このP19 にもきちんと記載するとよい」</p>	<p>ご意見として承りますが、案のままとします。</p> <p>環境への負荷が少ない持続的なまちづくりとは、脱炭素の取り組みだけでなく、循環型や自然共生などの取り組みも含まれます。</p>
25	<p>P19 写真「現在の駅東側の様子」とのタイトル</p> <p>船堀駅の改札を出た所の駅舎出入口口表示は、「南口」であり、「駅東側」の表現は誤りである。駅東側とは線路(駅舎)の本八幡方向であり、この写真のトキビル及び周辺は、駅南側である。(強いていえば南南東であり、東ではない)</p>	<p>ご意見を踏まえて、「駅南側」とします。</p>
26	<p>P21 6-2 まちづくり方針</p> <p>方針 において“頼られる防災活動拠点”を形成します。“とあるが、防災として当然の事であり、このように”頼られる“防災拠点という表現では、今を含めてだらしく、頼りがいのない行政ともとれる。一言でいえば当然の事を怠っているとの意味あいが強くなる。またP7 においては、「日本一の防災庁舎」との表現もあり、全体に用語の使用が不適</p>	<p>ご意見として承りますが、案のままとします。</p> <p>現在計画を進めている新庁舎では、「日本一の防災庁舎」を掲げ、いざというときに信頼ができる高い安全性を確保した、区民の安心のより所となる庁舎を目指しています。また、防災活動拠点とはタワーホール船堀を含めた3施設とそれらを繋ぐ歩行者デッキによる拠点を示しています。</p>

	切である。	
27	<p>P22 「交通結節機能強化」のタイトルが不適切</p> <p>P17と同様に「結節」を削除することで、タイトルとしての意味合いが強調される。「結節」があることで、島式バスの案件のみとなる。</p>	<p>ご意見として承りますが、案のままとします。</p> <p>本基本構想における交通結節機能とは、電車、バス、自動車、自転車などさまざまな交通手段相互の乗り換え及び歩行が効率的かつスムーズに行える機能のことを示しています。</p>
28	<p>P27 6-3まちづくりのゾーニング内の“3つのゾーン”では、区分名が明確に記載されているが、“3つの軸”においては、軸を設定します。とするだけの表現であり、統一性に欠ける。シンボルロード軸、広域東西軸、回遊動線軸と、3つを明記することで理解が深まる。</p>	<p>ご意見を踏まえて、「シンボルロード軸」「広域東西軸」「回遊動線軸」の3つの軸を明記します。</p>
29	<p>P31 7-1 地域住民等と意見交換しながら、</p> <p>地域住民等と意見交換「を」しながら、・・・</p>	<p>ご意見を踏まえて、「地域住民等と意見交換をしながら」とします。</p>
30	<p>基本構想案における賑わいや交流をもたらす都市機能の充実に向けた対策や防災まちづくりの推進は、船堀地区のこれから先を考え、作成したものと推察致します。</p> <p>今後は、区庁舎移転に伴う人の流入が変化する一方で、江戸川区および船堀1～4丁目地区の人口の減少、高齢者の増加、様々な状況変化も予想されます。今回公表された基本構想がそれらの変化に対応する現実的な解決方法になっているのかどうか、物事があまりにも早急に進んでいるように感じます。</p> <p>今後50年先を見据え、貴区役所と地域住民・地権者が一緒になって、安全性、利便性等に利するよう、そして船堀らしいまちづくりができることを切に願います。</p>	<p>本基本構想の策定にあたっては、地域住民等との意見交換会を行い、いただいたご意見を反映しながら作成しています。まちづくりには地域住民や地権者の皆様との連携・協力が不可欠なため、今後も継続して意見交換等を行いながら、船堀らしい魅力あるまちづくりの実現を目指していきます。</p>

31	<p>区役所と商業施設の2階部分から荒川までの歩道を作り、そこにちょっとした店舗(カフェなど)が並ぶ木々に囲まれた癒し空間。1階は地方や舞浜方面へ向かうバスターミナル。船堀駅出口から2階へつながる階段やエスカレーターを設置すると、改札付近の人の流れがスムーズになるのではと感じます。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
32	<p>区役所と同じ高さのビルをもう一つ作り、東京三大タワーが見えるカフェや図書館を作ると話題性が出るかと思いません。</p>	<p>市街地再開発事業において、新庁舎に隣接して同程度の高さの複合用途の建築物を整備予定です。建物の機能や用途に関しては、今後再開発事業の中で決まります。</p>
33	<p>高規格堤防に言及していないことは評価できる。まちづくりの基本構想に高規格堤防を採用するべきではない。「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」における「高台まちづくりのイメージ」においては、「高規格堤防の上面を活用した高台まちづくり」が提唱されているが、高規格堤防は傾斜した堤防盛土で構成され、高台盛土として機能する範囲は非常に狭く不十分である。なにより、高規格堤防整備は堤防盛土に必要な範囲を更地にし、堤防盛土を施した後に再建を促すという手順で進められ、地権者に時間、費用ともに大きな負担がかかる事業である。それにも拘わらず、高規格堤防が洗堀を免れるのは高規格堤防設計水位までであり、その越流水深は15cmが採用されている。決してどんな洪水やどんな高潮に対しても破堤することがないと言い切ることができない堤防である。まちづくりの基本構想に高規格堤防を採用するべきではない。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>船堀駅前地区の荒川(中川並行区間)左岸は、国の高規格堤防整備区間として位置付けられています。</p> <p>なお、本構想では「江戸川区都市計画マスタープラン(平成31年3月策定)」におけるスーパー堤防の計画を表記しています。</p>